



平成 27 年 5 月 18 日

各 位

会 社 名 株式会社省電舎
代表者名：代表取締役社長 嘉納 毅
(コード番号 1711 東証マザーズ)
問合せ先：経営管理部 福本 裕士
(TEL. 03-6821-0004)

平成 27 年 3 月期通期業績予想（個別）と実績の差異及び

関係会社株式評価損、関係会社に対する貸倒引当金繰入額（個別）の計上に関するお知らせ

当社は、平成 26 年 5 月 15 日に公表いたしました平成 27 年 3 月期通期の個別業績予想と実績に下記の通り差異が発生致しましたので、お知らせ致します。また、当社は、平成 27 年 3 月期（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）の個別決算において、関係会社株式評価損及び関係会社に対する貸倒引当金繰入額を特別損失に計上いたしましたので、併せてお知らせ致します。

記

1. 個別業績予想と実績との差異について

(1)平成 27 年 3 月期通期 個別業績予想と実績との差異

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	160	3	2	1.36
実績値 (B)	716	△169	△666	—
増減額 (B-A)	556	△172	△668	—
増減率 (%)	347.5	—	—	—
(ご参考) 前期通期実績 (平成 26 年 3 月期)	1,522	34	△0	△0.19

(2)差異の発生理由

売上高の増加については、業績予想策定時には、省エネルギー関連事業のみを当社売上として策定しておりましたが、お客さまよりの要望により一部の太陽光発電事業売上が当社売上として計上されております。このため、売上高については大幅に増加しております。

経常利益については、当社グループの連結販管費を再生可能エネルギー事業と省エネルギー事業の事業ごとの切り分ける予定であったものの、上述の理由により、当社売上に再生可能エ

エネルギー事業が含まれることとなったため、当該事業分の販管費負担が発生し、経常損失計上の結果となっております。当期純利益については、平成 27 年 2 月 4 日付開示の通り、省エネルギー事業撤退に伴う事業撤退損の計上と、後述の特別損失の発生により、当期純損失が発生することとなっております。

2. 関係会社株式評価損及び関係会社に対する貸倒引当金繰入額の内容

当社が保有する連結子会社ドライ・イー株式会社の株式について、実質価額が著しく下落したため減損処理を行い、関係会社株式評価損として 190,000 千円、貸倒引当金繰入額 97,056 千円を特別損失に計上致しました。

3. 業績に与える影響

当該関係会社株式評価損及び関係会社貸倒引当金繰入額は連結決算においては相殺消去されるため、連結業績への影響はありません。

以上